

学習内容報告書

学校名	鹿児島市立桜峰小学校
授業者	桜峰小学校（山下寛樹）

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

わたしたちの生きる島「錦江湾・桜島博士になろう」～いざ新島へ！

1-2. 学年

第3・4・5・6学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

新島へ行くことで、かつて桜峰小学校の分校があり、200人近い住民がその生活を営んでいたことを語り部から伝え聞く。また、安永大噴火による島の形成過程や、当時の薩摩藩主島津重郷公にまつわる言い伝えなどに耳を傾けることによって、その歴史について知る。

目的達成のために、下記のような学習過程を経る。

- (1) 「いざ新島へ！」新島探検を含む桜島周遊
- (2) 発表会準備
- (3) 学習発表
- (4) 鹿児島国際大学とのコラボ研修



1-5. 単元設定の理由・ねらい



ふるさと桜島についてより深く知りたいという意欲は高まっている一方で、活動によって何が分かり、何ができるようになったかという学びの実感が不足しているため、ふるさと桜島のよさを捉えきれていない。

そこで、新島探検を中心とした桜島周遊を通して、桜島をとりまく錦江湾の恵みや桜島の歴史、桜島に生きる人々の想いに触れる学習を通して、創意工夫して課題解決を行おうとする姿や表現力を身に付けさせたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

単元を通して、創意工夫して課題解決を行い、豊かな表現力を身に付け、積極的に学びの成果を発信する子どもの姿を実現したい。

1-7. 単元の展開（全70時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
6	<p>いざ新島へ！</p> <p>(1) 新島丸に乗船する</p> <p>(2) 地層に貝殻があることを発見し、安永年間より以前は海だったことを知る。</p> <p>(3) 住民が200人ほどいたことを知る。</p> <p>(4) 語り部の家1軒だけが地元に戻ってきており、現在暮らしていることを知る。</p> <p>(5) 明治33年に、新島には分校があったことを知る。</p> <p>(6) 新島丸に乗船する。</p> <p>(7) 桜島を周遊する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担任は、新島の住民との連携を図る。 ○ 担任は、桜島ジオサルク（ガイド）との連携を図る。 ○ 新島の住民の方や、桜島ジオサルクの方々のガイドに従って、桜島一周及び新島探検を行う。 ○ KYT 鹿児島読売テレビの取材を受け、3分程度のニュース番組を作成していただく。 ○ 桜島 GEO PARK のHPに掲載していただく。
4	<p>発表会準備</p> <p>(1) 模造紙に新島探検についてまとめる。</p> <p>(2) 演劇にまとめ、発表の準備を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見学者を意識した模造紙による誌上発表の準備をさせる。 ○ 演劇による新島探検の準備をさせる。
2	<p>学習発表会</p> <p>(1) 発表を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民の前で、発表を行う。 ○ 地域住民の方々から講評を受ける。 
5	<p>鹿児島国際大とのコラボ研修（コロナのため、12月になった。）</p> <p>(1) 学校案内をする。</p> <p>(2) 鹿児島国際大のゼミ生（経済学部ゼミ生）の前で、学習発表会の再演を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿児島国際大のゼミ生（経済学部ゼミ生）の前で、学習発表会の再演を行う。 ○ ゼミ生の講評を受ける。 

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ



単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4、5 時間目

2-2. 本時の目標

新島の成り立ちや、暮らしについての知識・理解を得る。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>(1) 新島丸に乗船する</p> <p>(2) 地層に貝殻があることを発見し、安永年間より以前は海だったことを知る。</p> <p>(3) 住民が 200 人ほどいたことを知る。</p> <p>(4) 語り部の家 1 軒だけが地元に戻ってきており、現在暮らしていることを知る。</p> <p>(5) 明治 33 年に、新島には分校があったことを知る。</p> <p>(6) 新島丸に乗船する。</p> <p>(7) 桜島を周遊する。</p>	 <p>【新島丸に乗り込む】</p>  <p>【ガイドの話聞く】</p> <p>指導方法：地域住民や、桜島ジオサルクの方々による講話</p> <p>評価方法：iPad で撮影を行わせ、ロイロノートにポートフォリオ形式でまとめさせ、提出させる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ガイドの活用によって、教師が事前に教材研究を行い、児童に解説するよりも、より興味をもって活動に参加する児童が増えた。
- 児童は、普段何気なく見ている風景や食べているものについて、「ふるさとの恵み」であるという認識を得ることができた。
- 生活科として1年生、2年生も同行し、4年生までの児童が参加し、新島をはじめ、黒神埋没鳥居、溶岩なぎさ遊歩道、湯之平展望所を一日かけて回ることができた。
- 「新島の成り立ち」や「桜島の噴火のしくみ」、「日頃から災害に備える大切さ」に加え、「椿油や温泉などの大地の恵み」や「錦江湾の豊かな生態系」、「火山と海に関する英単語」、「海外ジオパークから見た桜島・錦江湾の特徴」など、たくさんのことを学び、地域の面白さを再発見する時間となった。
- 参加した児童は、活発な質問や「新島のブランコが楽しかった」「桜島が活火山の中でも新しい火山だと知りびっくりした」などの感想もあった。
- 新島住民の方、地域漁業関係者の渡船、ガイド等の御協力が有り難かった。
- KYT 鹿児島読売テレビのニュースで報道していただいた。
- 本校 HP と、facebook 桜島ジオサルクとのリンクを行った。
- 本校 HP と、桜島 GEO PARK とのリンクを行った。

4. 今後の課題

- 地域住民の方との更なる連携が必要である。
- 新島の海に流れ着いた漂流物の調査や清掃が必要。
- 報道機関との更なる連携が必要である。
- 桜島フェリーなど、船舶局の御協力も得る必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。